



イベント
フォトギャラリー

わっ! まちの話題

2月11日 朝日を浴びて
東海岸をサイクリング



東海岸地域の景色や観光スポットなどを自転車で巡りながら楽しむ「サンライズサイクリング2024」（主催：東海岸地域サンライズ推進協議会）が実施されました。

参加者28名は天候に恵まれた中、西原町役場を発着地とし西原町～与那原町の観光スポット（軽便与那原駅舎展示資料館）や文化財（内間御殿）などに立ち寄りながら15kmのサイクリングコースをゆったりと満喫しました。

2月11日 東崎自治会 防災訓練！



AEDの使用方法について説明を受ける様子

東崎自治会（新屋良幸会長）が地震津波を想定した高台への避難訓練を行い、25名の会員が参加しました。

自治会集会所から新しく開通した国道バイパス高架橋まで約15分かけて移動し、高台から海岸の様子を確認。集会所に戻った後は、東部消防隊員の指導のもと、消火活動及び傷病人の搬送方法やAEDの使用方法を学びました。

隊員は「私たちが到着するまでは、そばにいる皆さんが救助の頼りです。命をつなぐ救助のリレーにぜひご協力ください」と呼びかけました。

2月10日～12日 高校生のパワーで西原町を元気に NS²BP 結成10周年



西原町の高校生が中心となり活動するNS²BPが結成10周年を迎え、記念行事がさわふじ未来ホールで行われこれまでの歩みや功労者への感謝状の贈呈式が行われました。また、「全国、高校生SBP交流フェア」も同時開催され、NS²BPと同じように地域を元気にするために活動している県外の高校生が参加し、プレゼン発表会や意見交換会が行われました。

NS²BPとは西原町在住の高校生が地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうというプロジェクトです。平成26年に24人からスタートし、10年間で19の高校から187人がこの活動に参画してきました。西原町特産品の詰め合わせ「セレクトギフト」の開発から始まり、商品開発・地域ボランティア・国際交流・演劇・観光PRなど高校生たちの自由な発想で様々な活動に取り組んできました。

令和5年度の第8回全国高校生SBP交流フェアにおいては、サトウキビを使った「万能ダレ」を製造・販売している取組が評価され最高賞となる「文部科学大臣賞」を受賞しました。

崎原町長は「NS²BPの皆さんの姿がまさに「文教のまち西原」らしさに繋がっている。これからも町民を巻き込んで、西原町をさらに元気にするために頑張ってください」とエールを送りました。

1月25日～27日 4児童館合同 真冬のおぼけ屋敷



町立4児童館合同によるおぼけ屋敷が西原南児童館で3日間にわたり開催され、児童・親子が大勢訪れました。作りこまれたおぼけ屋敷の中は「ワーツ」「キャー」と叫び声が響き渡り、中にはあまりの怖さに泣き出してしまふ子もいました。

石嶺暁斗さん（西原南小4年）は「あんなに怖いと思はなかった。マジで泣きそう」と涙を浮かべながら話しました。

1月26日 内間御殿で防火訓練



嘉手苺自治会員が消火器を使い初期消火活動をする様子

西原町教育委員会と東部消防組合により国指定文化財「内間御殿」から出火したことを想定した防火訓練が実施されました。町職員や嘉手苺自治会が参加し、出火発見から119番通報をし、初期消火をするまでの一連の流れを確認しました。

東部消防組合の仲村等消防長は「文化財を保護できるよう、地域住民が連携し、日ごろから訓練を行うことが大切」と呼びかけました。

1月19日 J1チャンピオン ヴィッセル神戸がチャンピオン



クラブ創設から29年目にて初となるサッカー J1リーグ王者に輝いたヴィッセル神戸が西原町民陸上競技場でチャンピオンしました。同クラブの西原町でのキャンプは昨年に続き2回目となります。

崎原盛秀町長は歓迎のあいさつで「ようこそ西原町へ。そして、J1リーグ制覇おめでとうございます。本町が一助になれたことを嬉しく思います。西原町で充実したキャンプを送り、来シーズンは連覇できるよう応援しています」と述べました。

選手たちは2月1日までの期間、2連覇に向けてトレーニングに打ち込みました。

優勝
おめでとうりん♪
2連覇目指して
チバリヨー。



1月24日 西原クラブ女子県大会優勝



第46回りゅうぎんカップ沖縄県小学生バレーボール大会で見事優勝に輝いた西原クラブ女子チーム（西原小）が崎原町長へ報告を行いました。

キャプテンの嶺井珠心さんは、「スタッフの皆さんや父母の応援に支えられて優勝できました。この経験を生かして今後もがんばっていきたいと思います」と笑顔であいさつしました。

崎原町長は「優勝おめでとうございます。今後もチームメンバーとの絆を大切にしながら、勉強や部活で努力を忘れずに頑張ってください」と激励しました。

1月25日 春の高校バレー大会結果報告



第76回春の高校バレー全国大会を終えた西原高校男女バレーボール部が崎原町長へ結果報告を行いました。

男子キャプテンの平良晟也さんは「目標のベスト8まであと一歩だったが、大きな舞台でプレーできたことが大きな財産となった。後輩たちに自分たち以上の成績を残せるように頑張ってください」と話し、女子キャプテンの大嶺若日子さんは「春高の舞台は楽しかったし、良い経験となった。大会では自分たちなりに頑張ったことを誇りに思います」とあいさつしました。

1月7日 畑で餅つき 地域交流会



津花波地内の本然農園（代表：與那嶺亮太）にて、収穫野菜による豚汁づくりや餅つきを行う、第2回本然餅つきが津花波こども会により開催され、町内外からの親子連れなど総勢140名が参加しました。

当日は、餅つきのほかにゆし豆腐をどれだけたくさん食べられるかを競う「ゆしわんぐランプリ」や豚汁用の野菜切り体験などが行われました。

畑の中での餅つき体験で和気あいあいとした交流会になりました。

1月22日 MICE住民説明会



西原町と与那原町にまたがる大型MICE施設建設についての住民説明会が西原さわふじ未来ホールで開催されました。同説明会は沖縄県文化観光スポーツ部MICE推進課により行われ、約150人が参加しました。

同施設は沖縄観光リゾートと産業振興の拠点として、1万平方メートルのメイン展示場や250室以上の宿泊施設、展示場と施設を結ぶペDESTリアンデッキなどを整備する。また同施設の供用開始を2029年3月とし、2025年7月から3年6か月かけて設計・建設に取りかかると説明がありました。

崎原町長は「大型MICE施設建設が西原町そして、沖縄県の発展の起爆剤になると信じています」と期待を寄せました。